

学科名	電気通信工学科・情報学科						
科目名	情報科教育法Ⅱ						
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	教職(高校情報)必修						
担当者	戒田 高康						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科「情報」の科目構成の内容と編成を説明できる。 ・学習指導法の基本と教育方法を説明できる。 ・指導内容と教材、教具を用いた教育技術の構成を説明できる。 ・学習指導案の機能を説明し、指導案を作成できる。 ・授業評価の考え方と評価法を説明できる。 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法</p> <p>第2回：情報教育の変遷</p> <p>第3回：わが国における情報教育、米国における情報教育</p> <p>第4回：初等・中等教育機関における情報教育</p> <p>第5回：各審議会答申と情報教育</p> <p>第6回：高等学校における情報教育</p> <p>第7回：教科「情報」と学習指導要領</p> <p>第8回：高等学校学習指導要領解説 総則編、情報編</p> <p>第9回：普通教科「情報」と専門教科「情報」の科目構成</p> <p>第10回：普通教科「情報」と専門教科「情報」の教育課程表の作成（演習）</p> <p>第11回：専門教科「情報」に関する学習指導案作成（演習）</p> <p>第12回：模擬授業(1)</p> <p>第13回：模擬授業(2)</p> <p>第14回：模擬授業(3)</p> <p>第15回：学習活動に対する指導方法</p>						
成績評価基準	定期試験			実技	50%		
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	30%		プレゼンテーション	20%		
	課題			計	100%		
	演習						
授業到達目標の達成度	上述の「授業到達目標」に関しては、合格者については5項目すべてを理解させることが達成できたことを課題レポート提出、口頭試問および模擬授業で確認した。						
反省点	受講者数との関係で、模擬講義の準備および実際の模擬講義の時間が不足したことにより模擬講義の時間が計画より長く、その他の講義が短かったので数来年度以降は検討が必要である。						
来年度の計画	講義前半に計画されている解説の週より、授業指導計画に関する説明や作業の時間をもう少しずつ取るように工夫する計画である。						
授業評価アンケートに対するコメント	全ての項目で全科目平均と同等の評価を得ており、一方、特にシラバス(設問7)が3.9とやや低いので、今後は、本設問項目の向上が必要である。						
履修登録者数	13名	定期試験 受験者数	12名	合格者数	12名	合格率	100%